

ヘアブラシと言っても様々…

ホンゴのブラシ はプロのスタイリストが

技術を最大に発揮でき、日々の仕様に耐えられるよう

長年の研究と工夫を重ねて絶妙な設計を行い

加工精度・耐久性の高い品質基準を満たすように創られています。

ブラシの良しあしを見分けるコツは
毛の質と密度、毛先のずらし具合など
言葉ではとても説明の難しい専門的な
要素がたくさん含まれています。

そこで多少高くてもプロが使っているブラシと
同じものをお買い求めになるのが良いブラシを
手に入れるコツといえるでしょう！

あなたの大事な髪を健康に美しく保つために
髪質にあった良質なヘアブラシを使いましょう

ブラシの豆知識



ブラッシングの効果

●髪の流れを整える

まず、毛先のもつれをやさしく解きほぐし、その後頭皮から毛先にかけてブラッシングしてキューティクルを整え髪にツヤをだします。

●髪についているゴミ、ホコリを取り除く

特に、シャンプー前に髪全体をブラッシングすることで髪についた汚れのほとんどは取れます。それにより、シャンプー剤の節約にもなり髪への負担が軽減されます。

●マッサージ効果で頭皮の血行をよくする

血行を良くすることにより、新陳代謝を促し髪の老化現象である白髪、脱毛を防ぎます。頭は体の中でも非常に大切なところ。ここを刺激することで全身の筋肉をほぐし緊張感が減少しリラックス効果が得られます。ストレスの解消にも役立ち、特に朝のブラッシングは脳を活性化させ全身の体調を整えます。

●頭皮を整えて、顔をリフトアップする

顔と頭皮は一枚の皮でつながっているため頭皮がゆるむと、顔もたるんでいきます。毎日のブラッシングで頭皮を刺激することは顔のリフトアップにもつながります。

ブラッシングのコツ

力を入れすぎないようにします。引っ掛かりがあったら髪が傷んでいる証拠なので無理に引っ張らないようにします。濡れた髪はキューティクルが開いている状態なので、そこにブラシをかけるとキューティクルがはがれてしまいます。完全に乾いていても摩擦を起こしやすくなるので、ブラッシング剤などを使い少し濡らした状態でいきましょう。

ブラッシング方法

●ロールブラシ

髪をドライヤーでさっと乾かし、根元からブラシを入れます。サイドの髪は頭を少し傾けて内側にブラシを入れるとブローしやすくなります。くせ毛を伸ばすなどスタイリングの土台を創ります。

●クッションブラシ

ブラシを手首で回転させながら、最初は前方の生え際からつむじに向かってときます。次にサイドから髪の流れに沿ってつむじの方に大きくブラッシングします。片手で髪のばらつきを押さえながら、毛先の流れと逆方向にブラッシング、髪の裏側の汚れも取ります。最後に上から下まで全体にときます。

ブラシの選び方

豚毛や猪毛の良質な天然素材で、毛は柔らかくてもコシのあるものが最適です。毛先のとがった物は頭皮を傷つけてしまいます。

お手入れ方法

荒い目のくしで根元より毛先へゆっくりと毛くずを取り除きます。その後、シャンプーかおしゅれ着洗いをし、ぬるま湯でゆすいでからブラシを持ってよく振り余分な水分を取り去ります。乾かすときは、毛の部分を下にして（伏せた状態）陰干ししてください。

ご注意

木のハンドルは湯や水に浸しておくことは避けてください。水分を含んで乾く際にひび割れがおこることがあります。クッションブラシに空いている穴は空気穴です。洗った後は、ブラシを逆さに立てかけ中の水を抜いてください。

クッションブラシは、ゴムに空気穴が空いている物もあります。